

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立竹園小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができている。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。 ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。 ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめはどんな理由があってもよくないことだと理解している児童が多い。 ・国語や算数、英語の学習が大切だと思っている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分によいところがあると思うことや、夢や目標をもつことなど、自己肯定感が低いこと。 ・自分で計画を立てて勉強をしたり、学校外での学習や読書をしたりする時間が少ないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】 必要に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できる文章になることを実感できるように指導していく。また、書いた文章の感想や意見を友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけるなどの学習活動を充実させていく。</p> <p>児童が日常生活において考えをまとめる際に、単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討するように指導していく。</p> <p>【算数】 具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見出したり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導していく。</p> <p>伴って変わる二つの数量が、比例の関係にあることを用いて、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさの求め方を説明できるように指導していく。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かって粘り強く取り組む姿勢を育むために、スモールステップで課題をクリアしていく体験を重ね、自信を持てるようにしていきたいと思えます。学習することの楽しさを感じながら、進んで学習する態度も身に付けさせていきたいと思えます。 ・読書の習慣をつけるため、学校では、図書室を利用する機会を増やし、読書の楽しさに触れる機会をつくりたいと思えます。ご家庭でも、ゲームやテレビなどのスクリーンタイムを少しでも読書に回せるよう働きかけていただきたいと思います。 ・調査結果を踏まえ、子どもたちの成長につながるよう、学校でもさらに指導をしていきますので、引き続きご家庭や地域の方々のご協力をお願いします。
--